

国土交通省のヒートアイランド対策

地表面被覆の改善

緑とオープンスペースの機動的確保

水と緑のネットワーク形成の推進

- ・緑地環境整備総合支援事業の推進
- ・「首都圏の都市環境インフラのグランドデザイン」(平成16年)「近畿圏の都市環境インフラのグランドデザイン」(平成18年)を策定

屋上・壁面緑化空間の創出

- ・近年の屋上緑化・壁面緑化空間の施工面積について、施工業者等への調査を実施
- ・屋上緑化:約160ha、壁面緑化:約10ha (平成12年~18年)

年度	屋上緑化面積累計 (㎡)	壁面緑化面積累計 (㎡)
平成12年	~10,000	~1,000
平成14年	~40,000	~2,000
平成16年	~90,000	~3,000
平成18年	~160,000	~10,000

都市形態の改善

人工排熱の低減

エコまちネットワーク整備事業

- ・多くの都市開発が予想される都市再生緊急整備地域において、都市開発と一体的に環境負荷の削減対策を行うため、複数の熱供給プラントを連携する施設等に補助する「エコまちネットワーク事業」を推進。

観測・調査研究の推進



東京等での関連施策の集中実施

- ・地方公共団体等と連携し関連施策を集中的に実施していく。

ヒートアイランド緩和に資する都市形態の評価手法の開発

- ・スーパーコンピュータを活用した大規模数値解析をヒートアイランドの問題に適用することにより、建築物から都市スケールに至る熱環境解析手法を開発する。
- ・建築群の配置形態、オープンスペースの連続性等と都市空間の風通しの関係を詳細に調べることにより、ヒートアイランド緩和効果を検討する。

500m
スーパーコンピュータによるシミュレーション

- ・複数の事業を組み合わせたモデル事業の調査結果を基に、総合的なヒートアイランド対策の手法を確立を目指す。

保水性舗装の整備

- ・平成17年度より、沿道環境改善事業を拡充し、「路面温度を低下させる舗装の敷設」を追加

風力+太陽光発電を活用した保水性舗装散水システム

- ・国会議事堂周辺に保水性舗装と散水装置を試験的に施工。平成18年7月~8月に路面温度データ計測
- ・保水性舗装の路面温度が通常舗装の路面温度に比べて平均約8℃低減したことを確認